

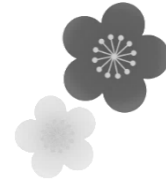
花水木だより

第75号 平成29年2月
千種区鯉城会会報
発行/花水木鯉城会

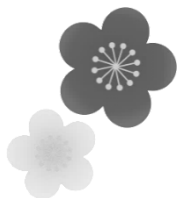


〈 花水木鯉城会の輪を広げよう 〉

目次



❖表紙	1
❖目次	2
❖巻頭言 大澤 鈴子 (27期 前行事委員長)	3
❖花水木鯨城会新年懇親会開催 / 参加をして	4～5
❖31期生第2回地域ミーティング	6
❖運営委員会だより	7
❖社会奉仕だより ボランティア活動実績 平成29年1～3月のボランティア 鯨城・堀川清掃大作戦に参加して	8～9
❖行事報告 「第13回趣味の作品展」開催 作品展写真集 作品展出品目録	10 11～14 15～16
❖紅葉名所めぐり 永源寺と金剛輪寺バスツアー	17
❖投稿 ふるさと懐古 竹下秀雄 (12期 生活B)	18～19
❖同期会の集い (24期会 / 28期会)	20
❖表紙の言葉 / 訃報 / 編集後記	21
❖29年度行事・活動計画 / 奥付 (裏表紙)	22



巻頭言

学ぶこと

前行事委員長 大澤 鈴子 (27期 園芸)

今年も新年を迎える事が出来、幸せに過ごせるよう祈ります。

「巻頭言をお願いします」との突然のお声掛けで、肝をつぶしました。昭和4年生まれの人に何を書けと言うのですか。言われればいくらでもあります。戦後75年と言いますが、何とも言いようのないこの国の有様。自由で、勝手に思い通りに生きられる世の中、それでも人は生きて行かなければなりません。この長い人生を80歳にして鯨城学園に入学し、若い皆様と接する事が出来、私は学びました。毎日が楽しく、「あ」と言う間の2年間。園芸に万葉にと何もかも一生懸命やりました。その間にも地域の活動もやりました。これが私の仕事と何の考えもなく、当たり前だと思って毎日を過ごして来ました。人様も同様に流されていると思います。当たり前だと思わないで。人の道に外れた事を平気で行う人、人の事と思って見過ごす事が、どれだけ人の心を傷つけているか判りません。子供たちの教育に、昔の「公民」の学科を取り入れて、「道徳心」を知らせてはどうかと思います。今の時代はこれが当たり前と思って、自分の事を先に考え、他人のことは二の次と思って、気かけない若い人の犯罪、子供のいじめなど反省がありません。習い事も自由に出来ます。幸せな時代です。だから少しでも他人の幸せを考えましょう。また自分も幸せになりましょう。



過日私は、富山県高岡市の万葉祭りに参加しました。高岡市は前田家二代目当主前田利長公によって開かれた城下町であり、銅器、漆器などの伝統工芸産業が連綿と守り伝えられています。その城下町に万葉集の代表的歌人である大伴家持が歌を詠みなんと豊かに過ごしていた事でしょう。市内の古城公園 中の島特設水上舞台で、私は万葉歌を朗唱しました。初めての事で嬉しかった。心ゆくまで連唱しました。万葉クラブの人達の応援を頂いての事です。クラブに入って勉強出来た事を感謝し喜びに思っております。また、この土地に来て、関心の深い全国の人達と交流を深められた事は、忘れる事は出来ません。

現在でも、地域の小学校のトワイライトスクールで子供達と一緒に針仕事を楽しんでおります。人生死ぬまで勉強です。私は頑張ります。

「玉くしげ 二上山に 鳴く鳥の 声の恋しき 時は来にけり」

「もののふの 八十娘子らが 汲みまがふ 寺井の上の かたかごの花」

花水木鯨城会新年懇親会 開催

総務委員会



花水木鯨城会恒例の新年懇親会が、1月6日(金)「木曾路瓦町店」にて11期生から29期生と鯨城学園2年生の30期生を含め96名が出席し、盛大で華やかに開催されました。

片山会長挨拶、城山地域会27期の大澤さんによる万葉歌朗唱に続き、大畠前会長のご発声による乾杯で新年懇親会の幕開けとなりました。

皆さんが楽しみにしているアトラクションは昨年に引き続き太極拳同好会の皆様による演武が披露され満場の拍手でスタートしました。

各地域会での活動でカラオケが話題になっている事から、初めての試みとして各地域会単位で舞台上がり歌を披露してもらいました。

初めに昨年「365日の紙飛行機」を熱唱し話題になった東星地域会の皆様につき、今池地域会の皆様により行われました。



途中で29期生による学生歌斉唱を挟んで若水地域会・城山地域会が続き、恒例の「お年玉抽選会」で会場が盛り上がった後に、残る千種台地域会・振甫地域会の皆様からの合唱披露で会場全体が拍手喝采の渦に包まれました。

7地域会の最後に千種地域会の皆様によるユニークな掛け合い川柳の披露で会場からの笑いに包まれステージと参加者とが一体となった時間を楽しんで頂きました。



各地域会のテーブルでは和気あいあいの談笑の輪が広がり、記念撮影を撮り合っている間に時間も過ぎ懐かしい唱歌「故郷」を参加者全員で斉唱。

最後は伏屋社会奉仕委員長による閉会挨拶と一本締めでお開きとなりました。



終了後、名残が惜しいのか？飲み足りないのか？お土産のぜんざいを持って2次会へと向かうグループもあり。楽しい新年の懇親会となりました。

ご参加いただきました会員の皆様、運営委員の皆様、ご協力有り難うございました。

総務委員長 大塚 雅和 (28期 福祉)



新年懇親会に参加をして



当日は、懇親会開宴 2 時間前から集合をして準備。また、花水木だよりでの周知から、当日の資料作り、内容、役割分担・・・この日の為に会員の皆様の笑顔で楽しんでいただく為の準備を重ねられてきた総務委員会の皆様の影の力に感謝です。



人知れず活動をしてくださっている方、見えない部分で支えてくださっている方、多くのお力を得て、私たちは笑顔で楽しかった一日の思いを胸に帰路に着く事ができた

のです。本当に感謝の言葉を贈りたいと思います。



朗唱から始まり、太極拳同好会、各地域会の温かい演目に拍手を送りました。

花水木だよりの新年懇親会の記事に添える写真を撮る為に会場内を歩き、撮らせていただきました。

地域会毎の席は、飲食に、会話に夢中、舞台上の熱演が耳に入らないくらいの盛り上がりでした。



各地域会毎に、時間が与えられての舞台発表は、今回が初めての試みでした。

この日の為に、練習を重ね、より地域会の“和・輪”が広がったのでは？と思います。

一番身近な地域での活動、地域の繋がりこそが“基礎”であり、これこそが地域活動、ボランティア

への第一歩になる足がかりとなるはずです。

地域貢献、自分の心地よい居場所を、各自が見つけている・・・そんな気がしました。

小規模ネットワーク・・・地域会から花水木鯉城会を盛り上げていきましょう。

心のアルバムにまたひとつ・・・花水木鯉城会での思い出が増えました。

ありがとうございました。



広報委員 福田由美子 (28 期 福祉)



鯉城学園 31 期生第 2 回地域ミーティング

総務委員会

平成 28 年 11 月 30 日（水）午後 伏見ライフプラザ 4 階中消防署講堂で、この 4 月鯉城学園に入学した 31 期生千種区在住 34 名（対象者 51 名）の出席を受け開催されました。



5 月に実施された第 1 回地域ミーティングでは、花水木鯉城会の概要紹介と自己紹介が中心でしたが、今回は学園生活にも少し慣れたこの時期に、31 期生の皆さんの地元で活動している花水木鯉城会の更なる理解を深めて頂き今後の地域活動を考える機会になって貰うことを目的に行われました。

学園から楳木学務主任、千種区社会福祉協議会から加納地域福祉推進スタッフが出席され、花水木鯉城会からは片山会長はじめ役員・運営委員及び地域長・同好会代表が出席しました。

最初に会員有志で組織され活発に活動している同好会の紹介が、カラオケ同好会代表の宮原さん及びパソコン同好会代表の久連石さんからありました。次に地域活動の原点である中学校区単位で組織された地域会活動を、各地域長から紹介して頂くとともに、参加者が地域ごとに分かれ地域会幹事の音頭で和気あいあいと時には笑い声も出て楽しいミーティングとなりました。

体育祭そして文化祭と慌ただしい時が過ぎて一息ついている時期でのミーティングなので、今日の花水木鯉城会の説明を少しでも頭の片隅に置いて頂ければ結構です。今後も充実した学園生活を楽しんで頂き、卒業後には一緒に地域に密着した活動が出来る事を楽しみにしていますとのメッセージで締め括りました。

前回の第 1 回地域ミーティング（5 月 25 日：48 名）に比べ、今回は欠席者が多く来年 6 月開催の第 3 回地域ミーティングに向けて更なる学園と連携した対策が必要と考えております。

いずれにしても今後の花水木鯉城会を託していく 31 期生ですので、色々な機会を通じ私達の活動の紹介を行い、一人でも多くの皆さんの卒業後の加入を実現させて行きたいものです。



運営委員会だより

10月運営委員会

- 千種社協：加納さんより「キラキラ✦サンタ事業」ボランティア募集の説明
- 心の絆創膏・グラウンドゴルフ交歓会・写真撮影ボランティア・和みの散歩道の報告
- 9月のボランティア活動報告及び10・11月の予定、公園清掃10月は千種（宮根・千代田橋）、「こころの絆創膏」（9/9）8名参加
- 第13回趣味の作品展（12/13～18）・花水木鯨城会特別講演概要説明
- 31期生第2回地域ミーティング（11/30）内容説明
- 「花水木だより74号」（11月1日発行）進捗状況及び協力依頼
- グラウンドゴルフ交歓会の開催時期の検討（熱中症対策）・OB文化祭（3/9予定）

11月運営委員会

- 鯨城会臨時代議員会（10/31）開催（鯨城ニュース31号 12月1日発行）
来年度からの再入学関連・各委員会報告及び区会活動の情報交換を実施
- 鶴舞公園清掃キャンペーン（10/8）報告（花水木鯨城会：会員14名・現役生10名）
- 10月のボランティア活動報告と11・12月の予定、公園清掃は11月今池（千種・千石・内山） ウイメンズマラソン（3/12）ボランティア募集
- 「紅葉名所めぐり」バスツアー（11/25）参加状況、趣味の作品展（12/13～18）展示分担作業及び受付当番の協力依頼 作品募集フォロー依頼
- 31期生第2回地域ミーティング（11/30）運営協力要請
- 鯨城ニュース31号配布作業依頼（11/28）

12月運営委員会

- 地域長会議（1/24）・30期生入会説明会（1/27）、大和小学校 昔あそびについて
- 11月のボランティア活動報告及び12・1月の予定、公園清掃は12月振甫地域会 堀川清掃大作戦実施報告、「キラキラ✦サンタ事業」ボランティア（16ヶ所）募集状況及び確認
ウイメンズマラソン（3/12）32名ボランティア参加
- 「紅葉名所めぐり」バスツアー（11/25）の実施報告（42名参加）
趣味の作品展（12/13～18）展示分担作業及び受付当番の確認（出展者34名 作品86点）
- 31期生第2回地域ミーティング（11/30）実施報告
新年懇親会（1/6）運営協力要請
- 「花水木だより75号」2月7日発行予定の概要説明と原稿依頼
- 鯨城会公開講演会：鯨城ホール「気象災害から身を守るために冬編」寺尾直樹氏（1/21）
鯨城学園再入学に関連する検討事項の進捗状況

社会奉仕だより

多くの皆様のご支援ありがとうございました。引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

社会奉仕委員会

ボランティア活動実績【10月～12月】

	項 目	4月～ 9月	10月	11月	12月	合計
1	ディサービスの支援	304	47	47	47	445
2	コーヒーサロン運営	124	21	26	20	191
3	茶屋ヶ坂第3公園清掃	74	10	11	7	102
4	鹿子公園清掃	63	4	9	7	83
5	児童館支援 アルバムカフェ	0		5		5
	乳幼児おもちゃづくり	17				17
	七夕飾りづくり	8				8
	ハロウィン		5			5
	クリスマス工作				7	7
6	名古屋市市一斉清掃	16				16
	こころの絆創膏	8				8
	区民まつり		10			10
	サンタクロース派遣				40	40
7	鶴舞公園清掃		14			14
	堀川清掃活動			14		14
8	図書館ボランティア	45				45
	学園サポーター	10				10
	合計	669	111	112	128	1020

平成 29 年 1 月～3 月のボランティア

ディサービス 介護活動	環境美化・清掃	千種児童館支援	その他
ディサービス支援 1 月～3 月の 月曜から金曜日 千種社会福祉協議会	茶屋ヶ坂第 3 公園 1 月～3 月の 第 1 日曜日	アルバムカフェ (女性 5 名) 1 月 17 日 (火) 9 : 15～12 : 00 13 : 00～15 : 00	心の絆創膏配布 平成 29 年 3 月 3 日 金山総合駅イベン広 場 4 名参加
コーヒーサロン運営 1 月～3 月の 2 回/月 千種社会福祉協議会	鹿子公園 1 月～3 月の 第 3 日曜日		ウイメンズマラソン 支援 (沿道整理) 平成 29 年 3 月 12 日 32 名参加

「鯉城・堀川清掃大作戦」に参加して



11 月 5 日晴天だけど肌寒い中、第 5 回堀川清掃大作戦が行なわれました。この清掃大作戦は、環境学科・OBからなる「堀川と生活を考える会」が、学生会・職員・各区の鯉城会の皆さんと共に活動して、今年で 5 回目を迎えました。今回は総勢約 900 名、花水木鯉城会から 14 名の方が参加しました。

この堀川清掃は歴史が古く、平成 15 年頃に名古屋ライオンズクラブが主体となり堀川浄化を目指し、その後官民一体となり、木曾川からの導水実験、水質調査などの活動が行なわれています。私は今回で 3 回目ですが、舟に乗って川面のタモすくいかなと思いきや、川沿い歩道のゴミ拾いでがっかりしていたのですが、しかし今回風の中で、川沿い歩道に落ちている空ペットボトルや落葉、煙草の吸殻、ティッシュの紙屑などは軽いので風に飛ばされ、堀川に落ちて浮遊ゴミとなることに気づいた。何も川にボートを浮かべて浮遊物を拾うことばかりが川の清掃ではなく、例え、堀川沿岸の道を清掃することでも結局は堀川の浄化に貢献できることにつながると思いました。

皆さんも、今後この鯉城・堀川清掃大作戦に積極的に参加して、堀川を少しでも元の清流に戻すことに貢献し、次の世代に引継ぐ遺産にすることができたらいいなと感じました。



後藤基之 (29 期 健康 B)

行事報告

第13回 趣味の作品展 開催

行事委員会

芸術の秋、第13回目になる「花水木鯉城会趣味の作品展」が、12月13日（火）から18日（日）までの6日間、愛知芸術文化センター地下2階アートスペースXで開催されました。

今回は「あいちトリエンナーレ2016」のため、会場が12月の2週しか利用できず競争率も高くなることから、市民ギャラリー栄と名古屋市博物館へも申込み、両会場も押さえていましたが、幸運にも第一希望の愛知芸術文化センターで行うことができました。

作品募集に関しては、8月から花水木だより等で広報してきましたが当初の締切時では出品者数52名・出品数72点と少なく心配していました。その後締切を延長したところ最終的には一昨年を上回り、65名の方から94点を出品していただきました。

今回の最先輩で13年連続出品の11期水野昭豊さんは、秋に白鳥公園の池で撮影した写真「飛ぶ鳥」、「池の鯉」の2点を出品されました。現在は体操とウォーキング等で体力維持に努め、高年大学の写真クラブOB会で頑張っているそうです。また、初めて出品の29期脇所耐さんは、絵手紙3点特に「四季の主たる花々」は、3m30cmの長さの巻物でした。昔から花の絵が大好きで水彩画を描いていましたが、絵手紙を通信教育で学び、高年大学では「絵手紙クラブ」に入っていたとのことでした。

各作品には作者の情熱がこもり、鑑賞いただきました多くの方に感銘を与えてくれました。会期中は一日平均約98名、総数589名の参観を得ました。

なお、展示作業と作品募集申込みで一部の方に大変ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びし、今後とも宜しくご理解とご支援をいただきます様お願いいたしまして開催報告とさせていただきます。有難うございました。



作品展写真集
【絵画の部】



ぶどう
丹羽 暁



萩
丹羽 暁



ムクゲ
小坂井康夫



山水
木村 史朗



丁酉
松井 淳子



はな
松井 淳子



里の桜
齋木せつ子



かき
鵜飼 孝



早春の大高緑地公園
山田 則生



旅
小澤 一隆



中世の街
水野 茂樹



黄昏のベネチア
西原洋一郎



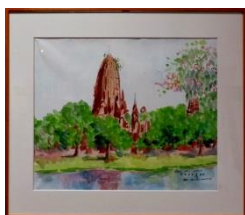
妻籠宿
山田 雄一



秋霖
新川 光雄



クレマチスとコーヒーミル
佐藤 佑子



アユタヤ遺蹟
中村 正信



うなぎとスッポン
田島 弘康



奈良井宿
野村 義夫



東山動植物園
堀 正道



半田レンガ倉庫
崎久保公子



半田小栗家住宅
崎久保公子



白菜
堀 照雄



美酒
竹倉 護



揚輝荘
竹倉 護



高山まつり
岩田 外次

作品展写真集

【絵画の部】



四季の主たる花々 (巻物)

脇所 耐



野菜のいろいろ

脇所 耐



絵手紙のいろいろ

脇所 耐



扇絵

山田 利夫



秋

山田 利夫



季節色々

山田 利夫

【写真の部】



老桜

山田 秋男



積丹半島神威岬

山田 秋男



飛ぶ鳥

水野 昭豊



池の鯉

水野 昭豊



臨濟宗永源寺

峯田 進



不動滝

竹下 秀雄



布曳滝

竹下 秀雄



千手滝

竹下 秀雄



静寂

渡邊 武通



わが世の春
佐々木壽美子



鳥居
瀬川 一彌



神農架
加藤 勇



新春 富士に飛ぶ
塚原 義政



記念写真
西原洋一郎

作品展写真集

【写真の部】



母ごころ
相場 彰史



秋深し
渡辺 孝子



水面のファンタジー
石原 繁子



真冬の日本海
山本 一



未完の塔
久連石一彦



好奇心
渡邊 泰興



朝の散歩
大島 啓三



写真俳句集
彦坂 茂光



勝山大師山清大寺
山中 豊二



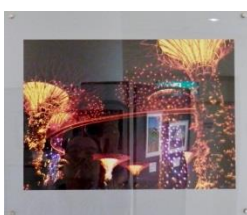
カリブ海の夜明け
片山 敦久



猿門
加治 敏男



公園
加治 敏男



人工森
加治 敏男

【陶芸の部】



鶴頸 (火襷)
吉橋 信雄



花瓶
吉橋 信雄



鉢 (粉青沙器)
器)



花器 (1)
池田 寿治



花器 (2)
池田 寿治



透かし彫
(1)



透かし彫 (2)
紫波 正國



抹茶茶碗
(1)



抹茶茶碗 (2)
中根 克弼



水差し
立垣八恵子



壺
立垣八恵子



絵皿5枚セット (2組)
田島 弘康

作品展写真集

【陶芸の部】



皿 (1)
山田 秋男



皿 (2)
山田 秋男



皿 (1)
佐藤 博高



皿 (2)
佐藤 博高



茶碗
佐藤 博高



壺
伏屋 信秀



皿 5枚 (南アフリカの思い出)
藤原 玉枝



中鉢
渡邊 源基



小鉢
渡邊 源基



モロッコの灰皿
紫波 正國

【手芸の部】



あこがれ (アートフラワー)
鈴木 久子



木彫りお盆 (大)
岩山 豊子



木彫りお盆 (小)
岩山 豊子



クリスマスツリー
藤井 芳美



女の子 (マクラメ編み)
藤井 芳美



木目込み人形
大澤 鈴子



お内裏さま一家
村上 栄子



ロングカーディガン
根上 青子

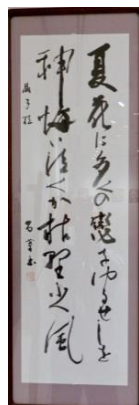


ベレー帽 (1) (2)
栗田みちよ

【書の部】



和敬
栗田みちよ



久米 昌孝

与謝野晶子和歌

【特別出品】



トリエンナーレのすみれ
吉田 誠



最愛のけいてい
吉田 誠

花水木鯨城会 第13回趣味の作品展出品目録

平成28年12月13日(火)～18日(日)愛知芸術文化センターB2F アートスペースX

No.	分類	出品者	期・学科	作品	題名
1	絵画 33点	丹羽 暁	16・文化B	水墨画	ぶどう
2		〃	〃	〃	萩
3		小坂井康夫	17・福祉	日本画	ムクゲ
4		木村 史朗	18・文化B	水墨画	山水
5		松井 淳子	18・文化A	孔版画	丁酉
6		〃	〃	〃	はな
7		齊木せつ子	19・園芸	水墨画	里の桜
8		鶴飼 孝	19・美術	絵画	かき
9		山田 則生	20・美術	水彩画	早春の大高緑地公園
10		小澤 一隆	20・美術	水彩画	旅
11		水野 茂樹	20・文化A	日本画	中世の街
12		西原洋一郎	22・文化A	水彩画	黄昏のベネチア
13		山田 雄一	22・美術	水彩画	妻籠宿
14		新川 光雄	22・陶芸	水彩画	秋霖
15		佐藤 佑子	25・生活A	水彩画	クレマチスとコーヒーミル
16		中村 正信	25・美術	水彩画	アユタヤ遺蹟
17		田島 弘康	25・陶芸	水墨画	うなぎとスッポン
18		野村 義夫	26・文化A	水彩画	奈良井宿
19		堀 正道	26・文化A	水彩画	東山動植物園
20		崎久保公子	28・福祉	水彩画	半田レンガ倉庫
21		〃	〃	〃	半田小栗家住宅
22		堀 照雄	28・園芸	水彩画	白菜
23		竹倉 護	28・美術	絵画	美酒
24		〃	〃	〃	揚輝荘
25		岩田 外次	28・環境	ボールペン画	高山まつり
26		脇所 耐	29・生活B	絵手紙	四季の主たる花々(巻物)
27		〃	〃	〃	野菜のいろいろ
28		〃	〃	〃	絵手紙のいろいろ
29		山田 利夫	29・文化A	絵手紙	扇絵
30		〃	〃	〃	秋
31		〃	〃	〃	季節色々
32		山田 秋男	26・陶芸	水彩画	老桜
33		〃	〃	〃	積丹半島神威岬
34	写真 25点	水野 昭豊	11・文化	写真	飛ぶ鳥
35		〃	〃	〃	池の鯉
36		竹下 秀雄	12・生活B	写真	不動滝(名張市赤目)
37		〃	〃	〃	布曳滝(名張市赤目)
38		〃	〃	〃	千手滝(名張市赤目)
39		渡邊 武通	19・美術	写真	静寂
40		峯田 進	19・文化A	写真	臨濟宗永源寺
41		佐々木壽美子	20・文化B	写真	わが世の春
42		瀬川 一彌	20・地域	写真	鳥居
43		加藤 勇	21・福祉	写真	神農架
44		塚原 義政	21・生活A	写真	新春 富士に飛ぶ
45		西原洋一郎	22・文化A	写真	記念写真

46	写真 25点	相場 彰史	22・文化A	写真	母ごころ	
47		渡辺 孝子	22・生活A	写真	秋深し	
48		石原 繁子	22・健康	写真	水面のファンタジー	
49		山本 一	23・生活A	写真	真冬の日本海	
50		久連石一彦	24・地域	写真	未完の塔	
51		渡邊 泰興	25・国際	写真	好奇心	
52		大畠 啓三	26・地域	写真	朝の散歩	
53		彦坂 茂光	27・文化A	写真	写真俳句集	
54		山中 豊二	27・文化A	写真	勝山大師山清大寺	
55		片山 敦久	27・園芸	写真	カリブ海の夜明け	
56		加治 敏男	29・陶芸	写真	猿門	
57		〃	〃	〃	公園	
58		〃	〃	〃	人工森	
59		陶芸 22点	吉橋 信雄	18・環境	陶芸	鶴頸(火櫛)
60	〃		〃	〃	花瓶	
61	〃		〃	〃	鉢(粉青沙器)	
62	池田 寿治		22・陶芸	陶芸	花器(1)	
63	〃		〃	〃	花器(2)	
64	紫波 正國		22・陶芸	陶芸	透かし彫(1)	
65	〃		〃	〃	透かし彫(2)	
66	中根 克弑		23・園芸	陶芸	抹茶茶碗(1)	
67	〃		〃	〃	抹茶茶碗(2)	
68	立垣八恵子		23・生活A	陶芸	水差し	
69	〃		〃	〃	壺	
70	田島 弘康		25・陶芸	陶芸	絵皿(5枚セット)2組	
71	山田 秋男		26・陶芸	陶芸	皿(1)	
72	〃		〃	〃	皿(2)	
73	佐藤 博高		27・地域	陶芸	皿(1)	
74	〃		〃	〃	皿(2)	
75	〃		〃	〃	茶碗	
76	伏屋 信秀		27・陶芸	陶芸	壺	
77	藤原 玉枝		28・陶芸	陶芸	皿5枚(南アフリカの思い出)	
78	渡邊 源基		28・陶芸	陶芸	中鉢	
79	〃		〃	〃	小鉢	
80	紫波 正國		22・陶芸	陶芸	モロッコの灰皿	
81	手芸等 10点		鈴木 久子	22・国際	アートフラワー	あこがれ
82			岩山 豊子	23・文化B	木彫	お盆(大 長方形)
83		〃	〃	〃	お盆(小 丸形)	
84		藤井 芳美	24・生活B	手芸	クリスマスツリー	
85		〃	〃	マクラメ編み	女の子	
86		大澤 鈴子	27・園芸	手芸	木目込み人形	
87		村上 栄子	27・文化A	手芸	お内裏さま一家	
88		根上 青子	28・文化A	手芸	ロングカーディガン	
89		栗田みちよ	28・生活A	手芸	ベレー帽(1)	
90		〃	〃	〃	ベレー帽(2)	
91	書2点	久米 昌孝	22・地域	書道	与謝野晶子和歌	
92		栗田みちよ	28・生活A	書道	和敬	
93	特別出展	吉田 誠	千種区	写真	トリエンナーレのすみれ	
94		〃	〃	〃	最愛のけいてい	

紅葉名所めぐり 永源寺と金剛輪寺バスツアー

行事委員会

晩秋の好天の中、11月25日（金）本年度最後のバスツアーが行われました。今回の目的地は滋賀県で、紅葉の名所をめぐるとツアーです。定刻通り午前8時15分に参加者42名を乗せ今池を出発。最初に近江市の「永源寺」を参拝しました。



永源寺は臨済宗大本山で、約650年前に開山され「もみじの里」としても親しまれている寺院です。バスから降り、愛知（えち）川右岸の崖沿い石段を登ると、紅葉に包まれた重要文化財の山門が現れました。まず門前で集合写真を撮り、それぞれ境内の本堂等を参拝しました。特に本堂は修理中ではありませんでしたが、葦葺の大屋根は国内でも屈指の規模で、本尊世継観世音菩薩を奉安しています。

次に、湖東三山の一つである金剛輪寺を参拝しました。

奈良時代に聖武天皇の勅願により行基が開山した天台宗の寺院で、下の道路の総門から本堂までは約500メートルの参道がありましたが、バスは上まで行き本堂から境内を散策しました。周辺の木々は「血染めの紅葉」で真っ赤に色づいており、私達の心を癒してくれました。本堂は鎌倉時代を代表する雄大な和様建造物として国宝に指定されています。



本堂から総門に向かう参道沿いの両側には千体地蔵が並んでおり、さらに進むと近江路随一ともいわれ、国の名勝に指定されている庭園があり早速写真を撮り、見学しました。昼食は「一休庵」で和牛鍋と豆腐ご膳を美味しくいただき、食後は彦根



城前の美濠の舎に立寄り、買い物等をして帰路につきました。

車内では恒例のビンゴゲームを楽しみ、ほぼ予定通りの時間に全員が無事に名古屋に着くことが出来ました。参加された皆様方に感謝申し上げますとともに、これからも皆様に楽しんでいただける企画をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

投稿

ふるさと懐古

竹下秀雄（12期 生活B）



私のふるさは南信州の伊那谷です。生まれは峰竜太と同じ下條村（飯田の市街地から南西へ約 20Km 位の所の農村）、舟下りで有名な天龍峡溪谷も近くです。

戦前から戦後暫くの間は養蚕業が盛んで村には 300 人程の若い女工さんが働く製糸工場（天龍社阿南工場）があり山村にしては珍しく小さな商店街もあり活気のある村でした。生家は農家で米作には代掻き田植え、田の草取り稲刈り脱穀など、養蚕では桑摘みや夜中に起こされて蚕飼、繭かきなど小学生の頃には勉強は二の次で手伝いをさせられました。

この養蚕業も戦後暫くして化学繊維時代となって昭和 32 年には製糸工場は閉鎖となりました。しかし先見の明のあった村の指導者たちにより村内へゴルフ場の誘致公園・道路の整備、保健、文化施設の充実、更に飯田市のベッドタウンとするべく村営の若者集合住宅の建築等他村に先駆けて村興しに力を入れ過疎化を防ぎ一時は人口増加を実現し全国から注目されたこともありました。

また教育に関しても戦前からあった 2 年制の村立実科中等学校の充実拡大にも力を注ぎ近隣の他村からの生徒も多数通学しておりましたが、これも戦後の学制改革により他の県立高校と合併し廃校となりました。よく小学校からの帰り道には友達と村の神社の境内でキャッチボールをして遊んだり、通学路の傍らの熟した野苺や桑の実を夢中になって摘み食いしその美味しかった味は今でも懐かしく思い出されます。

このようなのどかな農村で（ただし戦時中の厳しい時代でしたが）少年時代を過ごした私は旧飯田市（町村合併前）へ移り住み名古屋市へ転勤するまでの 14 年間を過ごし飯田市が第二のふるさとになりました。旧飯田市は人口 3 万人程の古い街並みの城下町で伊那谷の中心商業都市として栄えていました。

戦時中この町に疎開していた劇作家の岸田^{くにお}国土は「飯田の町に寄す」と題して次のような詩を残しています。

飯田美しき町 山近く水にのぞみ
空明るく 風にはやかなる町
飯田静なる町 人みな言葉やわらかに
物音ちまたにたたず 肅然と古城の如く
丘に立つ町
飯田ゆかしき町
家々みな奥深きものをつつみ



ひとびと礼にあつく
のきさび薨ふり
壁しろじろと小鳥の影をうつす町
(以下略)



この古い町並みを残した飯田市は残念なことに昭和 22 年 4 月の大火により市内の大半を焼失し、現在の町に復興しました。この復興のシンボルとして市内の中学生たちが並木通りにリンゴの苗を植えて立派に育て、春には白い花が、秋には赤い果実が彩を添え訪れる人たちの目を楽しませています。このリンゴ並木は日本の道百選とかおり風景百選に選ばれています。



この飯田市を含む伊那谷は、昔は首都圏、中京圏との交通は国鉄（現在は JR）飯田線だけに頼る大変不便な所でした。名古屋の本店へ出張は 1 日の会議でも 2 泊 3 日の行程となり前日 16 時過ぎの飯田線快速電車に乗り、当時は営業していた車内販売で豊橋名産ヤマサのチクワをつまみにして一杯、壺屋の稲荷寿司を夕食替わりにして食べ終わった頃に名古屋へ到着（所要時間 4 時間）と云う良き時代でもありました。また会社の年 2 回の慰安会は春は高遠へお花見に、秋は紅葉を眺めながら天龍舟下りで楽しみました。

昭和 50 年になると待望久しかった中央自動車道が開通し高速時代に入り、交通の便は昔と比べものにならない程よくなり、伊那谷の新しい夜明けが始まりました。唯一の主要交通機関であった JR 飯田線の乗客は激減し現在では秘境駅としてツアーの対象とされるようになりました。

特筆すべきは恵那山トンネル堀削の副産物として昼神温泉郷(生地の隣村)が誕生しへブンス園原・富士見台高原・花桃街道・スキー場・ゴルフ場さらに天龍舟下り、近隣の農村のイチゴ狩、リンゴ狩などとともに新しい観光地として売出し、年間を通じ賑ぎあいを見せるようになりました。

後期高齢者の仲間入りをしてから長年経過し帰省の回数も大分減り「ふるさとは遠くにありて思うもの そして〇〇しくうたうもの・・・」となりました。

以上

花水木鯨城会の皆さんへ広報委員会よりお願い

今回の竹下さんのような、懐かしく思い出す事、楽しい思い出、経験した事、感じた事、身近な出来事などを思い付いたまま文にして、投稿してください。お待ちしております。



同期会の集い



❖ 花の24期生 愛知ヤクルト工場見学 ❖

花の24期会のメンバー10名が日進市にある愛知ヤクルト工場に集まりました。工場見学は10時30分から11時30分です。説明会場で30分間、ヤクルトの試飲とDVDによる説明がありました。つづいて、30分間、製造工場を見学者通路から見学しました。この工場はいわゆるボトリング工場で、本社工場で造られた原料液と原料液水を混合したものを容器に詰めてキャップし、包装する過程が見学できました。説明者の説明が上手く、DVDもスローモーションの再生で、細かな製造過程がよく分かりました。最後にヤクルトミルミルのお土産をいただき工場を後にしました。その後、かごの屋池下広小路店に移動して食事会を行い、14時30分解散しました。



鯨城会 掲示板より

❖ 28期会 熱田神宮拝観 ❖

10月26日（水）秋晴れの好天気の中、28期会で熱田神宮を拝観しました。

ボランティアガイドの28期小川善美さんの案内で、午前11時から1時間半の予定をオーバーして境内境外の各神社とパワースポット等を巡りました。最近では良いパワーが貰えるパワースポットとしても注目を集めており、美肌のご利益もあるとして女性に人気のスポット、もちろん願いが叶うとされる願掛けをするスポットもあるので、熱田神宮は様々な形で体感することができるパワースポットだそうです。



拝観後、本日参加の17名は近くの白鳥甲羅本店において海鮮丼等のランチで楽しい歓談の時間を過ごし、活動豊かな「花の24期生」に負けない様、同期の仲間と次の行事を約束して解散しました。

鯨城会 掲示板より

表紙の言葉

「遊ぶ」

渡邊 泰興 (25期 国際)

白鳥庭園へ写真 OB 会で出かけたときに、見かけた子供のスナップショットです。

名古屋市には、趣の違う庭園が多数あり、時々カメラ散歩をしています。

訃報

小林 ふみ子様 (23期 国際 今池地域) 12月15日ご逝去

木村 史朗 様 (18期 文化B 振甫地域) 1月9日ご逝去

こころからご冥福をお祈り申し上げます。



【編集後記】

相手を思う気持ちがあれば、自ずと優しい思いが湧いてきます。笑顔に会いたくて、素直に優しい思いが湧いてきます。

花水木だよりを手にされた時のワクワク、ドキドキを想像しながら、少ない広報委員で、編集作業に取り組んでいます。

今、自分がこうしたいと思うこと、今やれることをやって楽しめばいい。

思いがけない出来事で先が見えなくなる不安を感じた時、「いま」がどれほど大切な「とき」なのかを改めて感じる。あるがままに受け入れ、あるがままに生きる、そして生かされていることに感謝をする。

「ありがとう」一番嬉しいこの言葉を、たくさん言えるような人生を送りたいものです。今回の花水木だよりを手に「ありがとう」を聞いたら幸せです。

【広報委員会】

委員長 吉村 勝幸(28期地域)

委員 加藤 潤子(27期文化A)

委員 福田由美子(28期福祉)

委員 関口嘉奈子(29期地域A)

委員 加治 敏男(29期陶芸)



今後の行事予定

♪♪ ～ 楽しいお知らせです～ ♪♪

行事委員会

平成29年度 行事・活動計画

5月26日(金)	静岡県袋井市 大河ドラマゆかりの地を巡るバスツアー 2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」のドラマ館を見学し、菩提寺の龍潭寺を巡って、資生堂資料館等も見学します。
7月14日(金)	社会見学会 三河地方のみそ蔵、寺院等を巡るバスツアー まるや八丁味噌のみそ蔵見学と大樹寺、豊川稲荷、無量寺を参拝し、ガン封じの講話を受けます。
10月24日(火) ～29日(日)	第14回 趣味の作品展 (愛知芸術文化センター) 絵画、写真、陶芸、書、手芸など趣味の作品を展示します。 (多数の出展をお願いします。)
11月10日(金)	長野県駒ヶ根市 紅葉とリンゴ狩りバスツアー 光前寺の参拝、養命酒駒ヶ根工場の見学・試飲と観光農園にてリンゴ狩りを行います。

※ 開催月日、場所、テーマ等未定ですが、出前講座を一回予定しています。



花水木だより 第75号

発行 花水木鯉城会

発行日 平成29年2月7日

発行人 会長 片山 敦久

編集人 広報委員長 吉村 勝幸 (☎735-3320)

名古屋市高年大学 鯉城学園